|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **議事録** | | | | 作成日 | | | | 2013年10月4日 | | |
| 作者名 | | | | 森口、佐藤 | | |
| **テーマ** | **Web e-ラーニングの提案** | | | | | | | | | |
| **開催日時** | 平成26年9月17日 | | 11:15 ~ 11:30 | | | | | | **開催場所** | 501 |
| **参加者** | 石井先生、及川先生、3G1 | | | | | | | | | |
| **発表者** | 森口直輝(プレゼンター) | | | | | 中野拳吾(オペレーター) | | | | |
| 小野沢優太 | | | | | 鎌田翔平 | | | | |
| 佐藤央和 | | | | | 湯浅史奈子 | | | | |
| **議題** | 1 | システム化の経緯 | | | 4 | | 秀英社のビジョン | | | |
| 2 | システム化の目的 | | | 5 | | 質疑応答 | | | |
| 3 | 機能 | | | 6 | | 講評 | | | |

| Ｎo | 議　　題 | 内　　　　　容 |
| --- | --- | --- |
| 1 | システム化の経緯 | 「１－１会社概要」で弊社が古い会社でITにあまり馴染みのない会社であることを説明。  「１－２背景」でゆとり教育における教育格差、英語初等教育における教員の人材不足を説明。 |
| 2 | システム化の目的 | 「２－１目的」でゆとり教育という言葉をなくし、グローバル化への対応を進めていくことを説明。  「２－２ターゲット」で社会人と学生両方使って頂きたいと説明。  「２－３メリット」で年齢、時間、分野を問わず学べることを説明。 |
| 3 | 機能 | 「HTML５のキャンバスを使った書き取りシステム」、「スピードラーニングのような音声学習システム」、「データベースを使った  問題検索システム」、「管理者とユーザ―毎のログインシステム」が盛り込まれることを説明。 |
| 4 | 秀英社のビジョン | 「４－１我々の提案」で人材教育や教育に不安を感じている人に利用してほしいサービスを提案することを説明。  「４－２我々の目指すもの」でたくさんのユーザーに利用してもらい、教育の未来に貢献することを目標としていくことを説明。 |
| 5 | 質疑応答 | 飯田さん「キャンバスを使った書き取りシステムについて、タッチパネルには対応しているのか。」  →PCのクリックのみの機能になる。  吉田さん「ゆとり世代が利用するようなサービスはあるか」  →現段階では考えられておらず、検討中である。  長谷尾さん「わからない問題を質問できる機能はあるか」  →現段階では搭載予定はないが、今後の開発で搭載予定。 |
| 6 | 講評 | 石井先生「ロゴマークに力が入っており、発表もスムーズに出来ていてオペレータにも合図を送っていたが、資料だけでは問題がわかりづらく、使わせる工夫が少ない。」  及川先生「機能の説明が薄い。」 |